

米国南東部の食虫植物調査記録

Research for the Carnivorous Plants from Southeastern
U.S.A. in July 2001

歯学部 柴田千晶

Chiaki SHIBATA

Department of Biology, The Nippon Dental University,
Fujimi, Chiyoda-ku, Tokyo 102-8159, JAPAN

(2001年11月21日 受理)

2001年7月13日から22日まで10日間の日程で、米国南東部をチャーターしたバスで約3500 kmを走破し、食虫植物の自生地を丹念に探査しました。ノースカロライナの食虫植物については、既に1963年から1964年にかけて日本人で初めて(故)英清道氏が自生地を踏査され、食虫植物研究会会誌31号(1963年10月)と34号(1965年4月)に記録を残されています。その後、本多真(1973~1979年)、島井弘男(1993~1994年)、若林浩(1998年)の3氏も米国南東部を踏査されていますが、英清道氏以来40年近くが経過しており、今回改めてほとんどの自生地の再確認とその後の状況をあわせて調査しました。成果として、*Dionaea* 1種、*Drosera* 4種、*Sarracenia* 6種、*Pinguicula* 3種、*Utricularia* 5種の合計19種を確認することが出来ました。2000年に実施した米国西海岸とアラスカ州の探査とあわせて、これで米国産食虫植物のほとんどを見たこととなります。なお、*Sarracenia oreophila*、*Sarracenia rubra* ssp. *alabamensis*などの稀少種は山岳部などに分布しており地理的な隔たりと時間の問題があり今回は目的から外しました。また、*Pinguicula*についてはすでに花期が終わっており、*Utricularia*の2、3種(*U. inflata*など)についても既に植物体が溶解しており、季節的に見いだすことが困難でした。以下、いくつかの主要産地に的をしぼって、現況と成果を報告します。

(1) Pensacola 周辺 (フロリダ州) 7月14日

前日 Atlanta 経由でアラバマ州の Mobile に着き宿泊した。Mobile の朝7時30分、気温 23°C、湿度 63%。人間にとっては心地よい快適な気候である。ハイウェイ 10号に入って東進し Exit 44 を出てルート 90 を走ったが、周辺は乾燥地ばかりで食虫植物は見当たらない。そして、フロリダ州に入り Pensacola から再びハイウェイ 10号に入って Exit 7 を出た。すぐ脇のガソリンスタンド前の側溝に *Utricularia gibba* が群生して盛んに開花していた。11時00分、気温 32.9°C、湿度 43%、(GPS N 30°31'27.1", W 87°05'11.1")。ここは入り江の中央に張り出した半島のような所である。少し南下して Exit 8 へ向かうため左折した所で *Sarracenia leucophylla* を見つけた。地面は乾燥してカチカチ、乾燥化のためカイネ科、スゲ科の植物が膝丈程に生育し草原化が進んでいる。草の中には *Sarracenia leucophylla* は見られず、路側帯で機械で草刈りされた場所にもみ生育している。何回も刈り取られるため草丈は余り伸びられず大きいものでも 30 cm 程度で小株しかない。それでも花が終わって子房が膨らみつつある花柄があちこちと目につく。

Sarracenia の根茎は比較的地上に出ているが草刈り機に具合良く削り取られずにすんでいる。土壌は砂質である。*Pinguicula ionantha* の群生も同所に見られた、鮮やかな黄緑色で肉質の葉がみずみずしい。*Pinguicula ionantha* は過酷な乾いた場所にも関わらず株の直径 7 cm にもなっているが開花した様子は見られない。地上に這う形のロゼットタイプが幸いているようだ。根はかなり太く広く地中深くまでもぐっている。これも路側帯にのみ生育が確認された。また、この一帯に *Drosera capillaris* が広く散生している。花茎は無い。11時30分、気温 32.9°C、湿度 65%と東京と変わらぬ猛暑である。紫外線量は測定していないが東京に比べるとはるかに多いと思われる (N 30°28'55.3", W 87°04'33.3")。

Exit 8 から3回目のハイウェイ 10号に入り東進を続け、Exit 14 が出てルート 331 を南下する。途中で川が堰き止められてできた沼が現れ、ジュンサイがあり *Utricularia purpurea* と *Utricularia gibba* が盛んに開花中であつた。沼床は砂質でヘドロは少なく足は潜り込まない、膝丈程度の水深である。14時20分、水温 33.8°C、pH 5.5、PO₄ 0.01 ppm、NO₂ 0.01 ppm、COD 8.0 O₂ppm 水色は澄んだ紅茶色で沼水は極めて貧栄養であつた (N 30°28'07.6", W 86°23'41.9")。

(2) Panama City 周辺 (フロリダ州) 7月15日

8時30分、気温 29.3°C、湿度 45%。バスが故障して動けず、タクシーをチャーターして10時15分に出発しルート 22 を東進した。全域乾燥化が著しく、原野らしいものは殆ど残されておらず、松の2次林や改植中の所もあつて、*Sarracenia* は皆無であつた。土砂採

取跡にできた大きな池の周辺で *Utricularia cornuta* の開花を見つけることが出来た。個体は多いが群生せずにポツポツと散生していた。*Drosera intermedia* も直径 10 cm 余りの大株となって開花していた。池の水面上に株立ちして浮島状に浮いているものもある。根は水中に伸びる。浮遊している群体も多々見られた。砂質土壌で靴が潜りこむほど柔らかではなかった (N 29°28'07.6", W 86°23'41.9")。

さらに 22 号線を東進して Dead Lake まで行く。最近大きなワニを見たので注意したほうがよいと釣り人から注意を受けた。ヌマスギの古木が不気味に水面上に立ち並んでいる大きな湖沼であるが、水はタンニンを含んで茶褐色透明である。ここに *Utricularia macrorhiza* が浮かんでいた。花は見られなかったが、1 m に及ぶ大きさの特徴的な無数の捕虫囊を着けている。初め軟弱な小さな個体を見た時、西海岸の *Utricularia macrorhiza* と同種とはとても思いもよらなかったが、典型的な大きな個体を見て疑いもなく同種と判った。開花は見られなかった。恐らく、フロリダ州のこの辺りが分布の南限ではないかと考えられ、意外と北米の広範囲に分布していることが分かった (N 29°47'36.1", W 84°49'50.6")。

(3) Apalachicola National Forest (フロリダ州) 7月16日

Panama City 朝 6 時、気温 24.6°C、湿度 45 %。Eastpoint に着いて左折しルート 65 に入る。間もなく左手に水路が現れ、細くて小型のタヌキモが浮遊していた。*Utricularia macrorhiza* である。そこから Apalachicola 国立森林帯へと入る。人家が無くなって間もなく松林の中に腐食質土壌の湿原が拡がり所々に水深 10~20 cm 程度の水たまりが見られ *Sarracenia flava* の立ち姿が見えた。水が多いためか植物体も伸びやかに大きく生育しており、草丈 70 cm 程度のものもみられた。筒の上部の赤い筋が目立つもの、全体が赤く着色しているもの、全く赤色が入らないものなど、色だけでも個体差がかなり見られ、これだけ変化があるのかと思われるほどである。これに形態の違いもあるので観察にはつきないものがある。かなり大きな群生である。幼苗も多数見られた。また、*Sarracenia psittacina* は水たまり周辺部比較的水の多い場所に散在し残花が見られた。*Drosera capillaris* のやや大型化したもの、そして、*Drosera filiformis* var. *tracyi* が水たまりの周囲に粘液をたっぷりと分泌して立ち並んでいた。水面をのぞき込むと株の直径 10 cm ほどの大きな *Pinguicula* が水中に沈んで生育している。幾分紅紫色を帯びた *Pinguicula planifolia* である。花が見られないのが残念である。花茎の残りも見られなかった。9 時 50 分、気温 32.0°C、湿度 55 % (N 30°62'23.4", W 84°59'00.7")。

Apalachicola を抜けて、Hosford からルート 20 を東進し、Tallahassee の市街には入

らズルート 98, 27号を経て Lake City へと向かった。途中少し迂回してルート 51 に入
て 2, 3 回ストップしてみたが、いづこも乾燥した草地で湿原らしきものは確認出来な
かった。

(4) Okefenokee 周辺 (ジョージア州) 7月17日

Lake City 8時00分, 気温 23.8°C, 湿度 53%。ルート 441 から 177 に入ってジョー
ジア州の Okefenokee 湿原近く。道の両端に水路がある。*Drosera capillaris* はどこにも生
えている。実は往きには見つからなかったが、帰路同じ道筋で *Sarracenia minor* (いわゆ
る 'Giant' type) の群生を見つけることが出来た (N 31°04'44.8", W 82°16'16.7")。

この公園 (Stephen Foster State Park) の中は広大な湖沼が連なる大湿原となってい
る。11時50分~12時40分まで船外機つきボートを借り湖水上 (水路のようになってい
る) を自由に走り回り, 水生植物を観察した。水路は岸から急深になっており湿地が形成
される要素はない。陸上は小低木が良く生育し裸地は見られない。水色は赤褐色。
Utricularia purpurea の花は終わり, とろけた群塊となって淀みの部分に漂っていた。よく
観察すると細い茎と葉の残骸が分かる程度である。恐らく, *Utricularia inflata* や
Utricularia radiata も既に溶けて無くなったのではないのだろうかと思われた。*Sar
racenia* は見られなかった。12時30分, 気温 33.8°C, 湿度 63%, 水温 26.4°C, pH 5.0。

公園入り口の Fargo の町まで戻り, 再びルート 441 を北上して Waycross を経由, 午前
の湖とは反対側のルート 177 を少し南下すると Okefenokee Swamp Park という自然博
物館がある。そのすぐ手前にも広大な *Sarracenia minor* 'Giant' の群生と *Drosera capil
laris* を見ることが出来た。道路の両側が草刈りされており, ホワイトサンドに近い砂質土
壌はかなり乾いているが, 少し掘れば水分が感じられる。周辺の木々の間に *Sarracenia
minor* 'Giant' の黄緑色の残花が見られた。木々の間に見られる植物体の方が草丈は高く
40 cm 程度。色は緑色が強い, 路側の日光が良く当たる場所で赤色が強く色も濃い。15時
00分, 気温 34.4°C, 湿度 42% (N 31°04'44.8", W 82°16'16.7")。

15時45分~16時40分 自然博物館 (動・植物園) を見学する。園内の池と水路に大き
な群塊となって *Utricularia macrorhiza* が浮かんでいた。すぐ目の前を 2~3 m のワニが
すーと泳いでいる。園内には幾つかの建物があって, ハ虫類館・生態館・歴史館などにパ
ノラマ展示がしてある。勿論, 食虫植物コーナーもあって *Sarracenia minor*, *Sarracenia
flava* の模型や解説が並び *Utricularia inflata* の説明図も掲げられていた。帰路, ルート
177 がハイウェイ 1 号線を横切って少し走った所にも *Drosera capillaris* と *Drosera
intermedia* を見ることができたが, *Sarracenia* は現れなかった。

(5) Charleston 周辺 (サウスカロライナ州) 7月18, 19日

Charleston 周辺では食虫植物は何も見つけられなかった。翌朝6時50分、気温25.0°C、湿度60%。North Carolinaへ直行するハイウェイはずっと市街地を走ることになるので、少々遠回りして、ハイウェイ52からルート17を通りMarion国立森林帯のルート45を東へと抜けた。人家の連続で、どこがNational Forestか疑うものであったが、途中カリカリに乾いた植林したばかりの草の中に *Drosera capillaris* と *Drosera brevifolia* を見ることが出来た (N 33°08'06.2", W 79°30'48.3")。ハイウェイ17号に出てからはひたすら走り、途中のスイレン池で *Utricularia purpurea* と *Utricularia gibba* を見たのみである (N 33°08'20.4", W 79°16'26.0")。

(6) Wilmington 周辺 (ノースカロライナ州) 7月19日

ノースカロライナ州に入って、Shallotteで左折しルート133を走ってすぐの所で *Drosera capillaris* と開花中の *Drosera intermedia*, そして、*Utricularia macrorhiza* を見ることが出来た。さらに北上しながら湿地らしい所で何回もストップして見て回ったが、*Drosera capillaris* と *Utricularia gibba* ばかりであった。そして、ようやく数株の *Pinguicula lutea* を初見する事が出来た。キリッと細く巻き込んだ黄緑色の葉が印象的であった。道の反対側の水たまりには *Utricularia minor* と見間違いそうな *Utricularia gibba* が見られた。13時30分、気温33.2°C、湿度65% (N 34°07'24.9", W 78°34'06.5")。

Whitevilleの町へ出てハイウェイ74に入る。Boltonからルート211に入ってSupplyを目指す。乾燥した松の植林地ばかりで、なかなか湿地が現れない。空が暗くなり遂に雷雨がやってきた。今回初めての雨である。思い余って車を止めた。その場所は真っ赤になった *Drosera intermedia* と *Drosera capillaris* の絨毯でその密度はかなり高く、地面が見えないほど密集している場所であった。*Drosera capillaris* の白花も見いだせた。道路の両側はかなり大きな木が林を形成している、バスを止めた場所は周辺が松林で枯れた松葉が落ちている、ちょうど日本の *Drosera peltata* のありそうな環境である。カメラも出せないドシャブリで残念であった。後で *Sarracenia rubra* も見つけることができた。

16時50分雨が上がり、やっと目的の湿地 (Green Swanp?) に到達できた。考えていたほど湿っているわけでは無くやや湿った砂地である。周辺は松の疎林で樹木のない開けた部分が草に覆われている。道路横には水路があり地表面は乾いているが水位はかなり高いと思われる。また道路の周囲を樹木が覆っていてその先にある開けた湿地は確認しづらい位置にある、中に入ると広大な湿原が広がっている。踏み跡の裸地に *Dionaea* の群生を

発見した、直径8 cmほどのものが2株と小苗数本がかたまつて生育している。捕虫葉は個体差が激しく真っ赤に色づいたもの、緑一色のもの立ち上がるタイプやロゼットタイプなど様々である。踏み跡以外の草の中にもかなりの個体数が確認出来た。栽培品が普及しているため植物そのものは珍しいわけではないが、初めてみる自然での逞しい姿に不思議な感動を覚えた。湿原の奥の松林周辺には *Sarracenia flava*, *Sarracenia rubra*, *Sarracenia purpurea* が群生していた。*Sarracenia flava* は黄色味のある筒状葉を直立しているので良く目立つが、*Sarracenia purpurea* は紫赤色から青単色など様々であり草の中に隠され全体の個体数は全く把握出来ない。*Sarracenia rubra* は草と同じ色彩でなお一層見付けにくい。*Drosera capillaris* はどこにも散在しており、入り口の水路には *Utricularia purpurea* が浮かんでいた。

この湿原は大勢の人が立入っているらしく、踏み跡が多い、また調査用の個体のマーキングのために小さな旗や樹木の幹にペンキで塗られた標識があちこちに見られた。細い糸状のスゲの団塊が一面に占める素晴らしい湿原であった (N 34°04'55.6", W 78°18'02.7")。

(7) Croatan National Forest (ノースカロライナ州) 7月20日

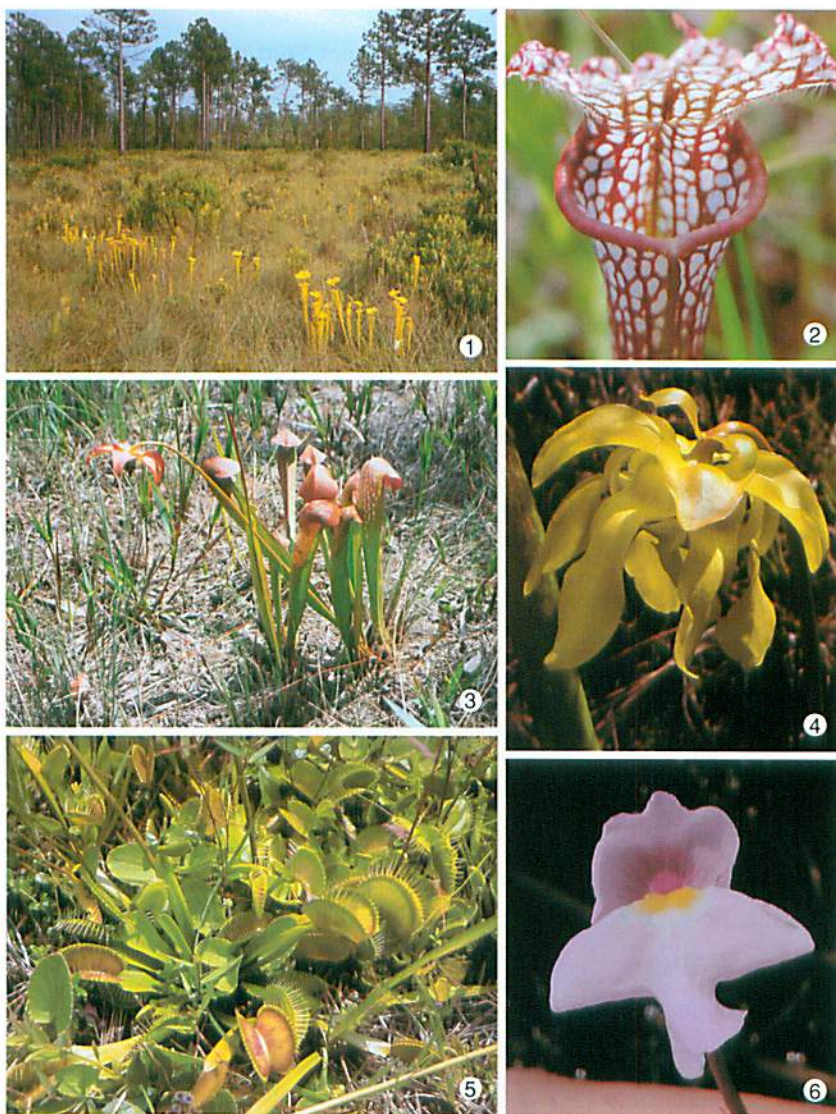
Wilmington 8時40分に出発、気温23.7°C、湿度70%。*Dionaea*の自生地を見学するためにCroatan国立森林帯へと向かう。ハイウェイ40を北上してExit 398からルート53へ右折し、Jacksonvilleからルート17に出てNew Bernを経由、James Cityからハイウェイ70に入って東へ走ると、間もなくレインジーステーションに到達できる。ここで地図を購入したり情報収集する。案内人を頼み*Dionaea*の自生地を目指して9-フット・ロードを10マイル程走った。松の疎林で時折火入れが行われている、今回盛大に燃えている場所もあった。Camp Sam Hatcherへの入り口でバスを停め周囲を探す。松の疎林は定期的に火入れをして下草や低木を燃やして生育を助けているようだ。砂質壤土でホワイトサンド、少し炭の粉が混じっている、かなり乾いているように見えるが握って見ると水分を感じられる。ここの*Dionaea*は大きく、松の疎林周辺部に巡らせた水路によって水分補給がなされるためか株の直径10 cm余りのものがゴロゴロしていた。*Sarracenia flava*, *Sarracenia rubra*, *Drosera capillaris*も群生している。奥の低木林の中の湿った水路跡のミズゴケの中に*Utricularia subulata*の開花を見つけることができた。バスで奥の行き止まりCamp Sam Hatcherを訪れた。大きな松林の中、レストランもあって宿泊可能な施設らしい。すぐ目の前の芝生の中に1坪ほどの雑草の塊が小島のように取り残されている。そこに*Sarracenia purpurea*の大株の一団が沢山の花柄を持ち上げていた。日差しが弱いため

か緑色を呈し、周囲の雑草とうまく溶け込んで見付けにくい。水路を挟んだ表側の芝生には3坪程の雑草の島が残されており、その周辺に *Dionaea* と *Drosera capillaris*, *Drosera brevifolia* が群生していた。*Dionaea* は少し傾斜した位置に良く生育し、直径10 cm程の古株と2~3年生の子株が混生し種子を実らせていた。道路脇の傾斜面には *Drosera intermedia* も生育していた。このキャンプに滞在する専門家やらが見物に出てきて、そのうちの一人が“もっと大きな *Dionaea* の群生があるから、後について来い”という。100 mほど歩いた開けた場所の芝生の端、窪みの縁に *Dionaea* の大群生があった。恐らく、そこが昔からの自生地、スミスさん宅の裏に相当する場所で、本多さんが訪れた所と同じ場所ではないかと思われた。確かに立派な大株がゾロゾロとある。枝の長い緑色のクモを捕らえ、捕獲させようと葉の間に載せたが、なかなか感覚毛に触らず閉じ合わせない。存分にデオネア *Dionaea* を楽しませてもらうことが出来ました。念願であった *Dionaea* 自生の遅い姿を見られたことでずっと保護されてきた生育環境を体で感じる事ができて大感動でした。

今回の企画に当たっては、カリフォルニア在住の本多真氏から多大なご指導を頂きました。氏は1973年から1979年までの間、米国内の広範な自生地を踏査され、それらの成果を食虫植物研究会会誌64号(1973年4月)から92号(1980年4月)に亘って詳しく報告されております。また、フロリダ州立大学・西フロリダ大学・南アラバマ大学などに現地での近況を問い合わせ下さり、多くの情報をご提供下さいました。心から感謝申し上げます。また、1993年から1994年にかけて島井弘男氏も米国各地の自生地や植物園を廻られ、食虫植物研究会会誌47巻1号(1996年1月)に記録を書かれております。さらに、ごく最近の情報として1998年12月にフロリダ州北西部を調査された若林浩氏からはGPSデータのご教示を頂きました。併せて、心から感謝申し上げます。なお、本多氏からミシシッピ州の *Sarracenia alata* の自生地見学を勧められていたのですが、時間的に不可能で今回は断念するしかなく大変に残念でした。

行動一覽表

月日	地域	時間	見学地点	気温℃	湿度%	N	W	食虫植物
7月14日	Pensacola フロリダ州	11:00	Pensacola	32.9	43	30°31'27.1"	87°05'11.1"	<i>U.gibba</i>
		11:30	Ext8	32.9	65	30 28 55.3	87 04 333	<i>S.leucophylla</i> <i>D.capillaris</i> <i>P.ionantha</i>
		14:20	R331	33.8		30 28 07.6	86 23 41.9	<i>U.gibba</i> <i>U.purpurea</i>
7月15日	Panama City フロリダ州	10:15	R22					<i>U.cornuta</i> <i>D.intermedia</i>
		12:40	Dead Lake					<i>U.macrorrhiza</i>
7月16日	フロリダ州	9:00	R65	29.4	43	29 47 36.1	84 49 50.6	<i>U.macrorrhiza</i>
		9:50	Nat.Forest	32.0	45	30 62 23.4	84 59 00.7	<i>S.flava</i> <i>S.psitacina</i> <i>D.capillaris</i> <i>D.ftiformis</i> <i>var.tracyi</i> <i>P.planimifolia</i>
7月17日	Lake City ジョージア州 Okfenokee	13:50	R51	35.0	47			
		17:00	Lake City-1	32.3	45			
		8:00	Lake City-2	23.8	53			<i>D.capillaris</i> <i>U.purpurea</i>
		9:30	R441			30 42 17.3	82 31 05.4	
		10:30	Okfenokee-1	31.4	60			
		12:30	Okfenokee-2	33.8	63			<i>U.purpurea</i> <i>S.minor</i>
		13:20	Okfenokee-3	33.8	43	36 42 51.3	82 29 53.2	<i>S.minor</i> <i>D.capillaris</i>
		15:00	R177	34.4	42	31 04 44.8	82 16 16.7	<i>S.minor</i> <i>U.macrorrhiza</i>
		15:45	Okfenokee Swamp Park					<i>D.capillaris</i> <i>D.intermedia</i>
		17:10	R177-North					
		17:50	Waycross					
7月18日	Charleston	13:00	Charleston-1					
		6:50	Charleston-2	25.0	60			<i>D.capillaris</i>
7月19日	ノースカロライナ州 Wilmington	8:20	Marion Nat. Forest R45					<i>D.brevifolia</i>
		8:50	R45					<i>U.gibba</i> <i>U.purpurea</i>
		9:15	R17	28.0	60	33 13 58.6	79 38 01.6	
		12:10	R133			33 08 06.2	79 30 48.3	<i>U.purpurea</i>
		13:30	R133			33 08 20.4	79 26 26.0	<i>U.purpurea</i>
		14:45	R211	33.2	65	33 59 29.2	78 26 13.1	<i>U.purpurea</i>
		16:15	R211			34 07 24.9	78 34 06.5	<i>D.capillaris</i> <i>U.gibba</i> <i>P.lutea</i>
		16:30	R211					<i>D.capillaris</i> <i>D.intermedia</i>
		16:50	R211					<i>D.intermedia</i> <i>D.capillaris</i> <i>U.macrorrhiza</i>
		16:50	R211					<i>D.intermedia</i> <i>S.rubra</i>
7月20日	Wilmington ノースカロライナ州 Croatan Nat.Forest	8:40		30.4	85	34 04 55.6	78 18 02.7	<i>Dionaea</i> <i>S.flava</i> <i>U.purpurea</i> <i>S.rubra</i>
		11:00	Croatan Nat. Forest					<i>D.capillaris</i>
		12:10	9-foot Rd.10mi	23.7	70			<i>U.subulata</i>
		13:50	Camp Sam Hatcher					<i>Dionaea</i> <i>D.capillaris</i> <i>S.purpurea</i>
17:15	Wilmington					<i>D.intermedia</i>		



Explanation of Photo-plate

1. *Sarracenia flava* nated near Supply (North Carolina), 19 July 2001.
2. The upper portion of a pitcher leaf of *Sarracenia leucophylla* nated near Pensacola (Florida), 14 July 2001.
3. *Sarracenia minor* 'Giant' nated in Okefenokee (Georgia), 17 July 2001.
4. A flower of *Sarracenia minor* 'Giant', 17 July 2001.
5. *Dionaea muscipula* nated in Croatan National Forest (North Carolina), 20 July 2001.
6. A flower of *Utricularia purpurea* nated near Freeport (Florida), 14 July 2001.

A list of the Carnivorous Plants collected from Southeastern U.S., July 2001.*Dionaea muscipula* Ellis ex L.

6 km NW of Supply, on R 211, 2001.7.19 NDC-11614

Croatan Nat. Forest, on 9-foot Road, 2001.7.20 NDC-11615

Drosera brevifolia Pursh

Marion Nat. Forest, on R 45, 2001.7.19 NDC-11595

Drosera capillaris Poir.

Pensacola Ext.7~8, 2001.7.14 NDC-11596

Apalachicola Nat. Forest, on R 65, 2001.7.16 NDC-11597

Okefenokee, on R 441, 2001.7.17 NDC-11598, 11599

Okefenokee Swamp Park, on R 117, 2001.7.17 NDC-11600

Okefenokee Swamp Park, on R 117 North, 2001.7.17 NDC-11601

Marion Nat. Forest, on R 45, 2001.7.19 NDC-11602

200 m NW of Shallotte, on R 133, 2001.7.19 NDC-11603

near Old Dock, on R 133, 2001.7.19 NDC-11604

near Brunswick, on R 133, 2001.7.19 NDC-11605

20 km SE of Bolton, on R 211, 2001.7.19 NDC-11606

6 km NW of Supply, on R 211, 2001.7.19 NDC-11607

Croatan Nat. Forest, 9-foot Road, 2001.7.20 NDC-11641

Drosera intermedia Hayne

30 km E of Panama City, on R 22, 2001.7.15 NDC-11608, 11609

Okefenokee Swamp Park, on R 177 North, 2001.7.17 NDC-11610

200 m NW of Shallotte, on R 133, 2001.7.19 NDC-11611

10 km NW of Supply, on R 211, 2001.7.19 NDC-11612

Drosera filiformis Raf. var. *tracyi* (Macf. ex Diels) Diels

Apalachicola Nat. Forest, on R 65, 2001.7.16 NDC-11613

Sarracenia flava L.

Apalachicola Nat. Forest, on R 65, 2001.7.16 NDC-11616~11620

6 km NW of Supply, on R 211, 2001.7.19 NDC-11621~11623

Sarracenia leucopylla Raf.

Pensacola Ext.7~8,2001.7.14 NDC-11624,11625

Sarracenia minor Walt.

Okefenokee,on R 441,2001.7.17 NDC-11626,11627

Okefenokee Swamp Park,on R 117,2001.7.17 NDC-11628~11633

Sarracenia psittacina Michx.

Apalachicola Nat. Forest,on R 65,2001.7.16 NDC-11634,11635

Sarracenia purpurea L.

6 km NW of Supply,on R 211,2001.7.19 NDC-11636,11637

Sarracenia rubra Walt.

6 km NW of Supply,on R 211,2001.7.19 NDC-11638~11640

Pinguicula planifolia Chapm.

Apalachicola Nat. Forest,on R 65,2001.7.16 NDC-13028

Pinguicula ionantha Godfr.

Pensacola Ext.7~8,2001.7.14 NDC-13029

Pinguicula lutea Walt.

near Old Dock,on R 133,2001.7.19 NDC-13630

Utricularia cornuta Michx.

30 km E of Panama City,on R 22,2001.7.15 NDC-13031

Utricularia gibba L.

Pensacola Ext.7~8,2001.7.14 NDC-13032

near Freeport,on R 331,2001.7.14 NDC-13033

10 km NE of Georgetown,on R 17,2001.7.19 NDC-13034

near Old Dock,on R 133,2001.7.19 NDC-13035

Utricularia macrorhiza Le Conte

Dead Lake,2001.7.15 NDC-13036,13037

Apalachicola Nat. Forest,on R 65,2001.7.16 NDC-13038,13039

Okefenokee Swamp Park,2001.7.17 NDC-13040,13041

200 m NW of Shallotte,on R 133,2001.7.19 NDC-13042

10 km NW of Supply,on R 211,2001.7.19 NDC-13043

Utricularia purpurea Walt.

near Freeport,on R 331,2001.7.14 NDC-13044~13046

Okefenokee Pond,2001.7.17 NDC-13047

10 km NE of Georgetown, 2001.7.19 NDC-13048

6 km NW of Supply, on R 211, 2001.7.19 NDC-13049

Utricularia subulata L.

Croatian Nat. Forest, 9-foot Road, 2001.7.20 NDC-13050

文献

- 島井 弘男 (1996) アメリカの自生地と植物園紀行 食虫植物研究会々誌 47(1) ; 14-18
- 英 清道 (1963) *Dionaea* の自生地を探る 食虫植物研究会々誌 31号 ; 20-21
- 英 清道 (1965) ノースカロライナの食虫植物 食虫植物研究会々誌 34号 ; 12-16
- 本多 真 (1977) アメリカ食虫植物の旅 (1)アラバマ, ノースカロライナ 食虫植物研究会々誌 82号 ; 1-5
- 本多 真 (1978 a) アメリカ食虫植物の旅 (2) ノースカロライナ, オキフェノキ湿原 食虫植物研究会々誌 83号 ; 1-7
- 本多 真 (1978 b) アメリカ食虫植物の旅 (3) オキフェノキ, フロリダ 食虫植物研究会々誌 84号 ; 1-5
- 本多 真 (1979 a) 食虫植物の花園 (その1) 食虫植物研究会々誌 87号 ; 22-26
- 本多 真 (1979 b) 食虫植物の花園 (その2) 食虫植物研究会々誌 88号 ; 1-7
- 本多 真 (1979 c) 食虫植物の花園 (その3) 食虫植物研究会々誌 89号 ; 1-4
- 本多 真 (1979 d) *Sarracenia oreophila* の自生地 食虫植物研究会々誌 90号 ; 1-6
- 本多 真 (1979 e) 早春の野に咲くムシトリスミレの花(1) 食虫植物研究会々誌 90号 ; 7-9
- 本多 真 (1980) 米国南東部産ムシトリスミレ(2) 食虫植物研究会々誌, 92号 ; 11-14
- 本多 真 (1989) サラセニアの宝庫アメリカ合衆国南東部に行く ガーデンライフ 1989(1);16-19
- Jones, S.B. & N.C. Coile (1988) The Distribution of the Vascular Flora of Georgia, 117 (Droseraceae); 152-153 (Lentibulariaceae); 187-188 (Sarraceniaceae)
- Mohr, C. (1901) Plant life of Alabama, Contribution from U.S. Nat. Herb. Publ. Univ. Press of Florida
- Schnell, D.E. (1976) Carnivorous Plants of the United States and Canada, Blair Publisher
- Wunderlin, R.P. (1998) Guide to the Vascular Plants of Florida